

第13 回講座

ボランティアについて



2023/11/5

NPO法人日本パークレンジャー協会

1. ボランティアについて

- Volunteerとは：元々 **志願兵** **義勇兵** のこと

中世の騎士団や十字軍など宗教的な団体の活動に起源

自発的に働き活動する人 を指す

- 語源はラテン語の **自由意志** 「voluntas」

「種をまかないのに自生してきた植物」の意味もある



ボランティアとは自立した人

2. ボランティア活動の四つの原則

1) 自ら進んで行動する……

自主性・主体性

* 自己責任で他者から強制されない

2) とともに支え合い学びあう……

社会性・連帯性

* 自分の役割を果たし互いに支える

3) 見返りを求めない……

無償性・無給性

* お金や名誉、地位は求めない

4) より良い社会を造る……

創造性・開拓性・先駆性

* 自ら課題の解決策を考え実践して行く

3. なぜボランティアか？

1) 今の社会システムの限界

現代社会では様々な課題に対して行政や企業の活動など
今の社会システムでは対応しきれない

環境問題:自然の破壊や災害/種の絶滅

社会:高度情報/格差/非正規/自国優先/過疎化/高齢化社会

人間関係:いじめ/虐待/孤立死…)

2) ボランティアは社会の担い手

これから社会は自由な発想に基づく様々なボランティアが支える

3) 社会とのつながり・生きがい・自己実現の場

*これまでの経験を生かして社会に貢献する場(定年後や仕事以外で社会とつながる)

*活動する楽しさ、人とふれあう喜び、自己実現、生き甲斐

*上下関係や肩書きの無い自由な人間関係

4. ボランティアは自分のためにやる

■ ボランティアは

奉仕や困っている人を助ける人のイメージがあるが…

人は何かをしてあげると言うよりは、自分が何かをして人が喜んでくれていると思う時に満足感を持つ

「ありがたい言葉」、「人とつながっていると感じる時」

「自分をやる気にさせてくれるもの」...が嬉しいと思う

■ ボランティアの活動は

- * 人を助けるつもりが自分が助けられている
- * 自分の生きがい・やり甲斐につながっている
- * 好きで楽しいことは続けられる

ボランティアは自分のためにやる → その結果が社会の役に立てば良い

5. ボランティアの責任

- ボランティアでも事故や怪我が起これば過失責任が問われます

野外活動では

- ①危険の予知をする(下見で不安全を調べる)
- ②危険を取り除く(安全対策をする)
- ③安全行動への注意と監督をする

- ボランティアは自由意思の活動ですが社会人としての責任がある

約束や時間を守る、自分の役割を果たす

- **コンプライアンス**(法令の遵守):ルールを守る (活動中は公人)

活動目的の理解/人を尊重/個人情報守秘/安全の優先..

ボランティアとして自立=自律した活動をお願いします

6. パークレンジャーの活動

活動	内容	備考
1 園地Tイベント	ハイキング/クラフト/野外料理など年間イベント実施	年4回/各園地T
2 森林整備部	間伐・下刈り作業/湿地の整備/安全講習など	定例3回/月
3 育成指導部	1. PR養成講座(4月～10月) 2. 安全研修(救急法、安全講習会) 3. スキルアップ研修の実施(インタープリテーションなど)	養成講座/月2回 随時 随時
4 環境調査部	生きもの調査(主にくろんど園地)	随時
5 団体教育部	ゲストティーチャー(園地案内、自然イベント実施など)	随時
6 HP委員会	HPへの報告/イベント募集/記事作成など	園地T/部発生都度
7 スイレン池Project	自然紹介記事掲示活動(スイレン池休憩所/むろいけ工作館)	概ね季節毎
8 自主研修	園地自然観察ハイキング、催しの試行、懇親行事など	随時
9 その他	季節の自然写真投稿/自然の不思議記事投稿など	随時

パークレンジャーには色々な活動があります / 積極的に参加をお願いします

7. パークレンジャーとして成長するために

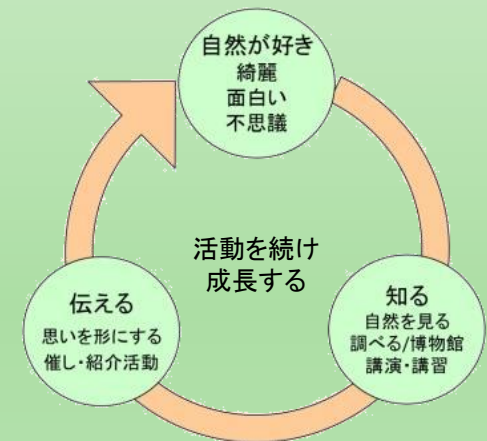
- 講座ではプログラムに従って参加すればよかった/これからは自ら学ぶ
 - 主体的に活動に参加する(チームの活動やその他の活動)
- ① パークレンジャーとしてなりたい自分の目標を持つ → 自然ガイドが出来るようになる
 - パークレンジャーに応募した時の動機を思い出す(自分がやりたかったことは何?)
 - ② 知るを楽しむ・伝えるを楽しむ
 - 楽しみながら自然のことを知る/伝えることで理解と幅が広がる
 - ③ 催しのリーダーをやってみる → 思いを形にする
 - 初めてやることは難しいこともあるが講座を通じてやってきたことを仲間と一緒にやれば良い
 - ④ 時間の作り方(無理のない参加)
 - この活動には参加すると決めて仕事や家庭の時間を調整する

パークレンジャーの成長=「考え方」×「熱意」×「継続力」

考え方 - 自然を知ることを楽しみ 伝えることを楽しむ

熱意 - 自然のガイドになるという目標を持つ

継続力 - 繰り返し実践して一步一步ステップアップする



目標:月一回は活動に参加しよう

色々な自然や活動に興味を持ち楽しみながら気長にやる

8. 色々な学びの場

- 本・新聞・TV・インターネット・YouTube…いつも自然や環境に関心を持つ
- パークレンジャーのスキルアップ講座
 - インタープリテーションが出来るようになろう会…
- 外部講座(有料):
 - シニア自然大学 (NPO法人シニア自然大学)
 - 森林大学 (NPO法人日本森林ボランティア協会)
 - 森の自然塾 (大阪森林インストラクター会)
 - インタープリテーショントレーニングセミナー (インタープリテーション協会)
- 資格に挑戦:
 - 自然観察指導員養成講座 (日本自然保護協会 NACS-J)
 - 森林インストラクター養成講座 (大阪森林インストラクター会)
 - 森林セラピスト/森林セラピーガイド (NPO森林セラピーソサエティー)
 - ネイチャーゲーム指導員(シェアリング・ネイチャー協会)

自分の手に会うことから始めましょう